

保土ヶ谷区会

平成20年10月23日、保土ヶ谷区会会員対話会を開催しました。
協会運営や入札制度について活発な意見交換を行いました。



保土ヶ谷区会は横浜市との防災協定や子ども110活動など、地域社会に根ざした活動を積極的に実施しています。平成20年10月18日、これらの活動の一環として保土ヶ谷区民まつりに参加し、建設業界のイメージアップに努めました。

< 災害復旧活動の状況のPR >

- * 訓練・巡視：防災訓練、工事現場の自主パトロール
- * 予防・保全：狭隘河川の護岸嵩上げ、土嚢づくり
- * 応急修理：道路陥没穴の復旧、破損ガードレールの撤去
- * 災害出動：がけ崩れ、除雪
など活動状況の写真パネルを展示し、区民の方々に紹介しました。



<地域住民とのふれあい>

巣箱のキットを区会員の手作りで作成、その組み立てを親子で体験してもらいました。用意した50セットすべてを制作し、親子さん達に持ち帰っていただきました。

一時は10組以上の親子組が並んで待つほどの盛況で、子供たちの真剣な眼差し、また家族の愉しそうな表情も見られ好評でした。

区民まつりでの巣箱づくりは3年目、昨年参加してくれた子供から小鳥が巣をつくり卵を産んだヨ！とわざわざ報告にきてくれたケースも数件あり、この事業も定着してきた感があります。



完成した協会の名入り巣箱



大盛況、順番待ちの子供たち

保土ヶ谷区会21社は「区民の皆様に役立つ集団になろう」を合言葉に地域活動を展開しています。

区民を災害から守る防災活動、防犯子ども110番活動、区民行事への協力などを進めていきます。

平成19年10月20日に、ほどがや区民まつりに参加し子ども達と一緒に巣箱を作りました。巣箱作り、設置、観察を通じてモノづくりの楽しさや自然・環境問題について学んでもらえればと願っています。



小鳥の巣箱作りに一生けん命なチビっ子達